

第2回 地方自治体の小規模橋梁向け定期点検技術評価委員会 議事概要

日時：2024年11月22日（金） 10:00-11:20

場所：大阪大学産業科学研究所 第2研究棟共同プロジェクト室（S-109）

オンラインとのハイブリッド会議

参加者：小規模橋梁向け定期点検技術評価委員会 ※オンライン参加

（関西大）鶴田委員長、（近畿道路メンテナンスセンター）青山委員、（大阪市）小松委員、
（摂津市）黒田委員※、（豊能町）坂田委員、（岐阜大）沢田委員※、（神戸大）三木委員※
（大阪府）小川委員※
（大阪大）荒木先生※、（株コクリエ）高崎様、（株大日コンサルタント）牧野様、矢島様、
後藤様、（事務局）鶴田、堀

- 議題：1. 実証試験の結果
2. 自治体ヒアリング
3. ガイドライン案の改定
4. 今後の検討項目

議事概要：

- ・「自治体の小規模橋梁を対象とした橋梁基本定期点検導入に係るガイドライン 第1版」の内容に関して討議が行われた。コスト削減効果の確認、緊急性の高い所見があった場合の管理者への伝達方法、点検者の技術レベルの担保、今後の担い手拡大への対応策を中心に議論がなされた。
- ・そのうち、ガイドラインの修正必要性について以下が議論された。緊急性の高い所見について記載欄を設ける点に関しては、発生頻度が少なく、現行チェックシートの所見欄に記載することで問題なく伝達可能と結論した。点検者の技術レベルをガイドラインに明記する点に関しては、試行していく中で明確にしていく過程を経る必要があるとのことから、今後の検討項目とした。
- ・上記の議論を経て、本ガイドライン内容に問題なく、第一版として最終化し公開することが承認された。
- ・本ガイドラインに従い実施する基本定期点検について、技術的助言を踏まえて作られていることが前提となっていることから、国土交通省のメンテナンス補助金の申請が可能であることが確認された。
- ・今後の検討項目としては、自治体を中心メンバーとした「地域の橋梁維持管理に係る体制のあり方検討WG」を設置することが承認された。WGにおける優先課題として、契約方式、健全性Ⅱの橋梁への対象拡大があがった。
- ・今後の委員会に関しては、実証実験やWGの進捗状況に合わせ、必要に応じ開催する。